

I

# 開催概要

# Starting port

みんなで作る、みなとまち新潟スタート！

いつ訪れても新しい。訪れるたびに発見がある。

そして、ふとした時に思い出す。

めざすのは、そんな変わり続けるみなとまち。

港から川へ、そして街へ。

人、モノ、情報、文化、歴史、感情、情熱、息づかい。

あらゆるものが行き交い、出会い、融合し、

またときにはぶつかりながら、新しいエネルギーが生まれていく。

みなとまち新潟は、ここに暮らす人とここを訪れる人、

みんなで作る運動体。

新潟開港150周年。

あなたといっしょに、新しいスタートをきります。



## <ロゴコンセプト>

黄色いリボンは、灯台のサーチライトが未来を照らし、人々を導くフラッグになるとともに、ヒト、モノ、情報が集まり、「出会う」ことによって新しさが生まれ、更新される広がり表現している。その上にNiigataや新しい=NewのNが浮かび上がる。

水色のポーターを組み合わせ、港らしさを演出。3本のラインは、信濃川、阿賀野川、日本海を表現している。

# = 基本方針 =

みなと文化の深化と次世代への継承

みなとまちを中心とした新潟ブランドの情報発信

新潟の特性を活かした国際的な物流・交流の強化、都市間連携の構築

港湾エリアを中心とした水辺空間の個性あふれる賑わいの創造

活気と魅力があふれる「みなと」の創出



みんなで作る、みなとまち新潟

# 新潟之湊真景

己未年  
山伏  
作

渡

佐



新潟湊之真景（新潟市歴史博物館蔵）

## 開催趣旨

新潟港は、安政の五カ国条約により開港五港の一つに指定され1869年1月1日（明治元年11月19日）に、佐渡夷港（現在の両津港）を補助港として開港し、2019年1月1日に開港150周年を迎えました。

新潟は、古くより越後平野を流れる信濃川や阿賀野川の川湊として栄え、新津、白根、巻といった現在の新潟市域や、新発田、津川、三条、燕といった地域において物資が流通し、河口地にある新潟湊が舟運と海運をつなげる結節点としての役割を果たしてきました。さらに、江戸時代には、北前船の寄港地としてにぎわい、人・物・文化が新潟を拠点に交流し、日本海側最大の湊町として繁栄しました。

また、開港以後、新潟湊から新潟港へと近代港湾としての機能が整備され、日本海側初の特定重要港湾の指定や新潟東港の開港などを経て、1995年には、日本海側唯一の中核国際港湾に、2011年には、

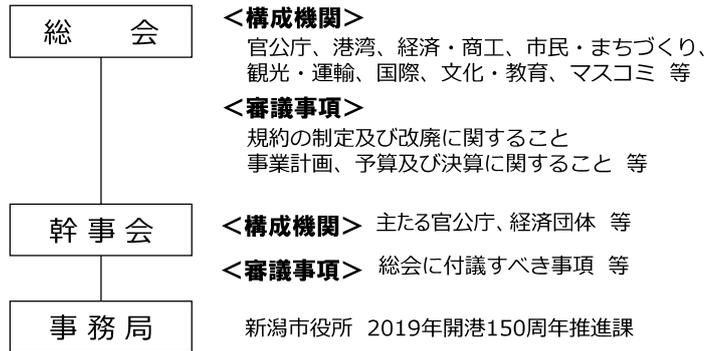
国際海上輸送網の拠点となる国際拠点港湾に位置づけられるなど、日本海側を代表する港として発展してきました。

今後、新潟港をはじめ新潟がさらに発展していくため、新潟開港150周年を過去から未来へと紡ぎ、新しい新潟を切り拓くスタートの機会として位置付け、みなとまちの育んだ歴史や文化を継承・発展させ、地域の誇り（シビックプライド）を醸成するとともに、拠点性の向上やまちづくりを推進し、国内外からの交流人口の拡大や地域の活性化につなげていくことが重要となってきます。

新潟開港150周年を迎えるこの記念すべき機会を、地域が一体となった取組みとして推し進めていくため、幅広い分野の関係者のみなさまとともに、新潟開港150周年記念事業を開催します。

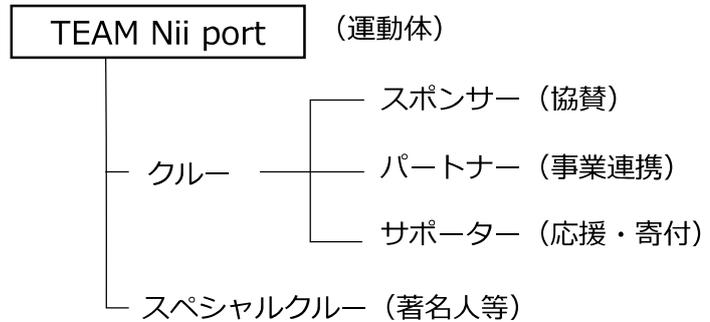
## ■ 実行委員会の体系

開催趣旨にご賛同をいただいた幅広い分野の方々計165機関で構成



## ■ サポーター制度

事業参画をいただくための制度で、開港150周年をみんなで盛り上げる仕組みづくりに取り組みました。



## ■ 事業期間

<機 運 醸 成 期 間> 2017.4 ~ 2018. 6  
 <記念事業コア期間> 2018.7 ~ 2019.12

## ■ 事業実施範囲

新潟市、佐渡市、聖籠町、新潟の特性を活かした地域



両津港



新潟西港



新潟東港



函館港



横浜港



長崎港



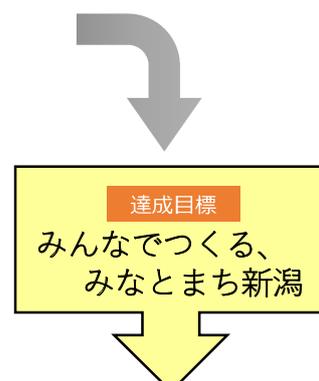
神戸港

# Stating port

## みんなで作る、みなとまち新潟 スタート！

新潟開港150周年記念事業の取り組みにあたっては、国、県、市、町の連携が不可欠との共通認識のもと、2015年から勉強会を立ち上げ、共通認識を深めるなかで、次のコミュニケーションのステップを図りながら取り組むこととした。

- 目的** 新潟開港150周年を契機に新しい新潟を切り拓く機会として各種事業の展開を図ること。
- ねらい** みなとまち新潟の創造・魅力の向上
- 手法** オール新潟による運動体を形成



- ◆ 150周年ロゴの自由使用
- ◆ Nii port PRESSの発行
- ◆ シティドレッシングの展開
- ◆ スペシャルクルーとのコラボ
- ◆ ラッピングバスの制作 (クラウドファンディング)
- ◆ クルー参加募集 (協賛)
- ◆ 記念式典【実行委員会事業】
- ◆ みなとまちイベント【実行委員会事業】
- ◆ 国内外に向けた情報発信【実行委員会事業】
- ◆ 事業サポート【実行委員会事業】
- ◆ パートナー事業【連携事業】
- ◆ 記念商品等の開発【連携事業】
- ◆ みなとまちの振興・都市基盤整備【関連施策】



# 取組成果

※ P.188～189でそれぞれの算定根拠を掲載

## 課題1

### オール新潟の 体制づくり

3か年に開港150関連でコラボレーションした  
相手方の数（企業、団体、官公庁等）

**603** 機関

**21** 億円  
みんなで取り組んだことで得られた  
パブリシティ効果



## 課題2

### 地域の誇り(愛着) の醸成

新潟市政世論調査で  
「みなとまち」を  
誇りに思う人の割合

シビックプライド  
の醸成

**5.2** ポイント

2016 : 38.6% ⇒ 2018 : 43.8%



## 課題3

### 交流人口の拡大

開港150関連イベント  
3か年（2017～2019）  
総来場者数

交流人口  
の拡大

**748.8** 万人



2017～2019

# 取組結果

### ■ 主催事業

- 記念式典やキックオフイベント等 : 79 件

### ■ 記念商品等の開発

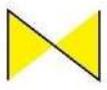
- 記念商品発売件数 : 59 件

### ■ 情報発信

- ロゴマークの使用申請件数 : 246件
- マスコミへの記事掲載等 : 3,510件以上
- スペシャルクルー就任 : 24 組 257 人

### ■ パートナー事業

- 趣旨に賛同したイベント等 : 485 件
- ※ このうち 助成事業 : 48 件

TEAM  Nii port

### ■ 関連施策

- みなとまちの振興に関する施策 : 81 事業
- 都市基盤の整備に関する施策 : 23 事業

### ■ 実行委員会の運営

- 構成団体 : 165(官公庁・企業・団体)

### ■ 協賛・応援

- 企業協賛 : 142 社
- 寄付（個人・団体） : 282 件

# みんなで作った、 みなとまち新潟のイメージ

各種アニバーサリー行事の開催



みなとまち新潟  
の魅力磨き

みなとまちの  
賑わいづくり



都市間交流

次世代のまちづくり

